

# 町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月16日と17日に13人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

※ QRコードでそれぞれのようにすが視聴できます



学校にも変化・新しい活力を!!



森の下草を採食するシカ

地方と都市を結ぶ新しい学校の形「デュアルスクール制度」を取り入れ、



見塚 修 議員

## デュアルスクール制度の取組を!! 学校再編と並行の取組は困難です

都市部との交流人口の拡大・移住定住のきっかけづくり・体験留学、交換留学など新しい香美町版チャレンジプラン教育に取組む考えはないか。新しい、変わった制度には全国に先駆け、その効果を求めているの早急な取組を求める。

町長 文部科学省も平成29年に地方移住等に伴う区域外就学制度の活用として、全国の教育委員会に通知しています。双方の学校間で学習・生活の情報交換の密が必要で、教職員の負担増や専属職員の配置が心配です。

市町独自でなく、県単位で導入すべきものと考え、本町は最優先課題の学校再編と並行して検討することは、困難と考えています。  
教育長 交流・関係人口の増、地域の活性化、移住促進が期待できますが、新しいチャレンジプランは考えていません。



東垣 典雄 議員

## 森はピンチ、シカによる採食被害 個体数の減少被害防止を行ないます

農作物や森林の下草を採食するシカ、同じ害獣のイノシシは自然環境の生態系を変えませんが、シカは森林の下草を食べつくし木の皮を剥ぎ食べて森林を荒廃させ自然の生態系を変えます。

森林の採食被害は深刻、生息密度を下げる必要が後で捕獲頭数の推移を注視します。  
町長 被害状況は農林業ともに減少しておりますがさらにシカの個体数を減少させることが喫緊の課題であると認識しています。  
「ストックポイント」

但馬の市町の連携と活動は本年度、香住区御崎、相谷地区の捕獲活動を予定、森林組合においても捕獲活動を行なうことなど個体数の減少、被害の拡大防止を行ないます。

